

# 大阪城

2024  
11/25  
0月  
14499  
号

全港海  
西成会

2x47  
6647-  
4947

季節節は冬に向つていて、寒さは日々厳しくな  
てくる。今年も残すところ一ヶ月少しになり、

11/28(木)より東京では臨時国会だという。

ついで、3ヶ月ほど前、8月の熱心な時に岸田(前首相)

自民党の總裁選挙に出たこと発言し、今の政治の

変化になつてきている。しかし、実際の現実社会の根底

からの変化や、アメリカはじめ地球的变化も大きく

目撃しながらスマホやインターネットで貝聞をしてい

るので、石破政権の登場など、それほど驚くことも

なくなつてい

石破政権は閣議で

13、9北用の補正予算を決めた。住民税非課税世帯に

全国で1300万世帯と予測しているというから、

を支給する。子ども世帯には子供一人に2万円を加算

する。来年12月、電気ガス料金の補助。ガソリン

補助も継続。産業の「コメ」といわれる半導体とAI

(人工知能)分野の支援で、30年度(今後の年間ほど)までに、

補助金も北用、金融支援4兆円以上を支援する……

などの総合経済対策を、11/28、12/21までの臨時国会

で審議・論戦がはじまるとい

来年1/20から動き出す。トランプ政権も、長官や役、  
決まってきたりして、水面下では実質動きはじめたり、  
世界も、身構え、新しい動きが生れてきている。

# 求人の落ち込みと物価高騰 迫る越年・残すは一月余

## エンゲル係数「30%」目前、食費高騰が家計にずしり ...日本人の豊かさは後退しているのか

読売新聞オンライン 2024/11/20武田泰介

食料費が家計の消費支出に占める割合、いわゆる「エンゲル係数」の上昇が目立ってきた。2024年7～9月期は29%超と節目の3割に迫り、通年でも約40年ぶりの高水準だ。物価上昇に伴い食料品の価格が上がっているのが主因だが、理由はそれだけではない。...

身近な食材の値上がりは家計にずしりと響く。総務省の家計調査(2人以上の世帯)によると、2024年7～9月期の1世帯あたりの消費支出は月29万2127円、うち食料は8万5534円で、エンゲル係数は29.3%まで上昇。23年平均の27.8%と比べて1.5ポイント高くなった。23年通年でも約40年ぶりの高い水準に達している。

実質賃金が伸び悩む中、食品の高騰が急ピッチで進んでいることが大きい。...気がかりなのは、年金暮らしの高齢者や収入が比較的低い世帯の負担感がより重いことだ。日本銀行の「生活意識に関するアンケート調査」(9月)によると、1年前に比べて物価に対する実感が「かなり上がった」「少し上がった」と答えた人の割合は合わせて94.7%で、高い水準が続いている。

寒さが本格的になってきます。来週は12月。時の流れは本当に早いです。